

令和2年度行政事業レビューシート ( 内閣官房 )

<b>事業名</b>	国際博覧会推進本部経費			<b>担当部局庁</b>	内閣官房副長官補	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	令和3年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和7年度	<b>担当課室</b>	国際博覧会推進本部事務局	<b>参事官</b>	中野 岳史		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	平成三十七年に開催される国際博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律第2条			<b>関係する計画、通知等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月11日閣議了解</li> <li>「大阪府における2025年国際博覧会の立候補及び開催申請について」</li> <li>・経済財政運営と改革の基本方針2020(令和2年7月17日)</li> <li>・成長戦略実行計画(令和2年7月17日)</li> </ul>				
<b>主要政策・施策</b>	クールジャパン			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大阪・関西万博の成功に向けて、各国に対し参加招請を本格化させるほか、国内外での機運醸成に向けた取組を行うことで、人類が直面している地球規模の課題解決に向けた我が国の取組や魅力を国際社会に発信する。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	2020年度に開催される国際博覧会事務局(BIE)総会において、開催計画にあたる登録申請書が承認され次第、各国に対して参加招請を開始する。2021年10月から開催されるドバイ万博等においてPRを行う。また国内外の国際会議等において、機運醸成に向けた取組を実施する。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	100		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	100		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
<b>令和2・3年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>	2年度当初予算	3年度要求	<b>主な増減理由</b>					
	諸謝金	-	100	「新型コロナウイルス対策関連要望額」100 各国への参加招請及び国内外での機運醸成に向けた取組の強化するため、国内外でのPR等の実施に必要な経費を新規で要求する。					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	計	-	100						
<b>成果目標及び 成果実績</b> (アウトカム)	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	平成29年度	30年度	令和元年度	<b>中間目標</b> - 年度	<b>目標最終年度</b> 7 年度
	大阪・関西万博への参加国数を150カ国とする。	各国の参加意思を確認する。(最終年度にあたっては、実際の参加国数とする。)	成果実績	カ国	-	-	-	-	-
			目標値	カ国	-	-	-	-	150
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典)	-								
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載</b>								チェック	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込		
	国内外におけるPR等の実施数	活動実績							回	-
		当初見込み	回	-	-	-	-	5		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込			
	X=国内外におけるPR等に要した経費 /Y=国内外におけるPR等の実施数	単位当たりコスト					円/回	-	-	-
		計算式	百万円 / 回	-	-	-	-			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策									
		施策								
	測定指標		定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標年度
									年度	7
				実績値	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
					-					
				-						
				-						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度
						-	年度	年度	年度	-
			成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-			
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国際博覧会を成功させることは日本の経済活性化の起爆剤となることから、開催に向けて参加招請や機運醸成は必須であり、社会のニーズを反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国際博覧会条約により政府が主催することとなっている。また、国が主導して地方自治体、企業等が参画することにより、我が国の産業の国際展開を推進し、産業振興、貿易振興を進めていく必要があることから、地方自治体、民間等に委ねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	閣議了解や成長戦略等の中に入っており、政策体系の中で優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・用途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
		-		-
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
平成30年度							
平成31年度							

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 しているかについて  
 補足する)  
 (単位: 百万円)

内閣官房  
100百万円

【委託】

民間企業等

〔 各国への参加招請及び国内外での機運醸成に向けた取組の強化 〕